

フロイント産業株式会社  
「経済産業省認定GNT企業」

**JASDAQ**  
(証券コード 6312)

2020年2月期 第1四半期  
スモールミーティング資料

2019年7月12日

 **FREUND**

## 目次

---

- 2020年2月期 第1四半期 連結決算概況 . . . P.02
- 2020年2月期 重点方針の概要と進捗 . . . P.13

2020年2月期 第1四半期  
連結決算概況



## 連結決算サマリ

- G E 80%施策の一巡の影響は想定を超える
- FREUND-VECTOR社は下期偏重でスタート
- フロイント・ターボ社はLiB関連案件が急減速
- 化成品は順調な基調

(単位：百万円)

	2019/2月期 第1四半期 実績	2020/2月期 第1四半期 実績	前年同期比増減		2020/2月期 予想 (19/4/9付)
			金額	%	
売上高	4,849	2,878	△1,971	△40.6%	17,500
営業利益	399	△ 214	△613	△153.8%	1,000
経常利益	478	△ 217	△696	△145.4%	1,000
当期純利益	347	△ 158	△505	△145.5%	700
一株純利益 (円)	20.37	△ 9.44	△29.81	△146.3%	41.80
設備投資	174	204	+ 30	+17.6%	700
減価償却費	79	84	+ 5	+6.6%	350
研究開発費	230	204	△26	△11.5%	750

## 機械部門：概況

### ● 分野別売上高

- 医薬品関連：ポストGE 80%の反動減を新製品がカバーできず  
国内設備需要は底打ちの兆しはあるが、案件数は減少基調で推移
- 産業関連：中国向けLiB向け案件は急減速、他分野でのカバーに取組み中

### ● セグメント利益

- FREUND-VECTOR社：下期偏重により、固定費を吸収できず1Q赤字
- フロイント・ターボ社：同上

(単位：百万円)

	2019/2月期 第1四半期 実績	2020/2月期 第1四半期 実績	前年同期比増減		2020/2月期 予想 (19/4/9付)
			金額	%	
<b>売上高</b>	<b>3,433</b>	<b>1,386</b>	<b>△2,046</b>	<b>△59.6</b>	<b>11,000</b>
医薬品関連	2,993	1,146	△1,847	△61.7	—
産業関連	439	240	△198	△45.3	—
<b>営業利益</b>	<b>278</b>	<b>△267</b>	<b>△545</b>	<b>△196.1</b>	<b>—</b>
<b>受注高</b>	<b>2,553</b>	<b>2,583</b>	<b>+29</b>	<b>+1.2</b>	<b>—</b>
医薬品関連	1,924	2,148	+224	+11.7	—
産業関連	629	434	△194	△30.9	—
<b>受注残高</b>	<b>4,928</b>	<b>6,657</b>	<b>+1,729</b>	<b>+35.1</b>	<b>—</b>
医薬品関連	3,915	6,047	+2,131	+54.4	—
産業関連	1,012	610	△402	△39.7	—
<b>為替 (円/ドル：+は円安)</b>	<b>107.8</b>	<b>111.0</b>	<b>+3.2円/ドル</b>	<b>+3.0</b>	<b>105.0</b>

## 機械部門：グループ会社別動向

- 単体 : 国内設備投資一巡は想定以上の反動減
- FREUND-VECTOR社 : 下期偏重でスタート
- フロイント・ターボ社 : 産機向け受注環境は急減速

(単位：百万円)

	2019/2月期 第1四半期 実績	2020/2月期 第1四半期 実績	前年同期比増減		2020/2月期 予想 (19/4/9付)
			金額	%	
<b>売上高</b>	<b>3,433</b>	<b>1,386</b>	<b>△2,046</b>	<b>△59.6</b>	<b>11,000</b>
単体 <sup>※</sup>	2,803	843	△1,959	△69.9	—
FREUND-VECTOR社 <sup>※</sup>	360	415	+55	+15.3	—
フロイント・ターボ社 <sup>※</sup>	321	178	△142	△44.4	—
<b>営業利益</b>	<b>278</b>	<b>△267</b>	<b>△545</b>	<b>△196.1</b>	<b>—</b>
FREUND-VECTOR社 <sup>※</sup>	△107	△157	△49	—	—
フロイント・ターボ社 <sup>※</sup>	△58	△69	△11	—	—
<b>受注高</b>	<b>2,553</b>	<b>2,583</b>	<b>+29</b>	<b>+1.2</b>	<b>—</b>
単体	1,322	1,395	+72	+5.5	—
FREUND-VECTOR社	691	920	+229	+33.2	—
フロイント・ターボ社	539	267	△272	△50.4	—
<b>受注残高</b>	<b>4,928</b>	<b>6,657</b>	<b>+1,729</b>	<b>+35.1</b>	<b>—</b>
単体	2,554	4,554	+1,999	+78.3	—
FREUND-VECTOR社	1,521	1,763	+242	+16.0	—
フロイント・ターボ社	853	339	△513	△60.2	—

※ 売上高、営業利益のグループ会社別数値については連結調整前の数値となります。

## 機械部門：地域別動向

- 日本：市場環境の変化（ポストG E 80%）の影響大
- 北米：米国内案件で苦戦
- アジア：中国・韓国向け案件はマクロ影響あり  
（単体→韓国、FREUND-VECTOR社→中国）

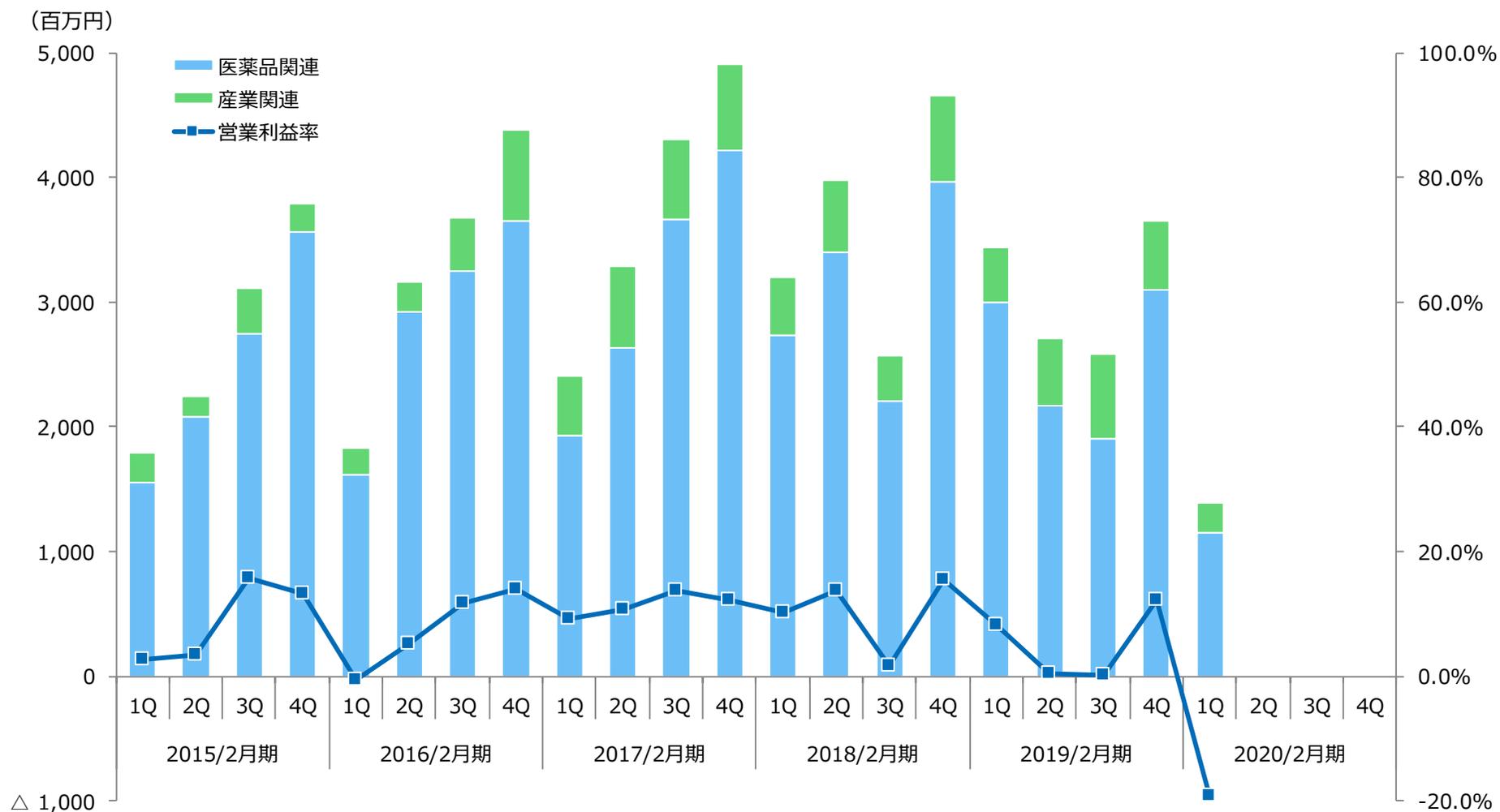
(単位：百万円)

	2019/2月期 第1四半期 実績	2020/2月期 第1四半期 実績	前年同期比増減		2020/2月期 予想 (19/4/9付)
			金額	%	
売上高	3,433	1,386	△2,046	△59.6	11,000
日本	2,783	894	△1,888	△67.9	—
海外	649	491	△157	△24.3	—
北米・南米	289	308	+19	+6.7	—
欧州・アフリカ	80	81	+0	+1.2	—
中東・アジア・太平洋	279	101	△178	△63.6	—

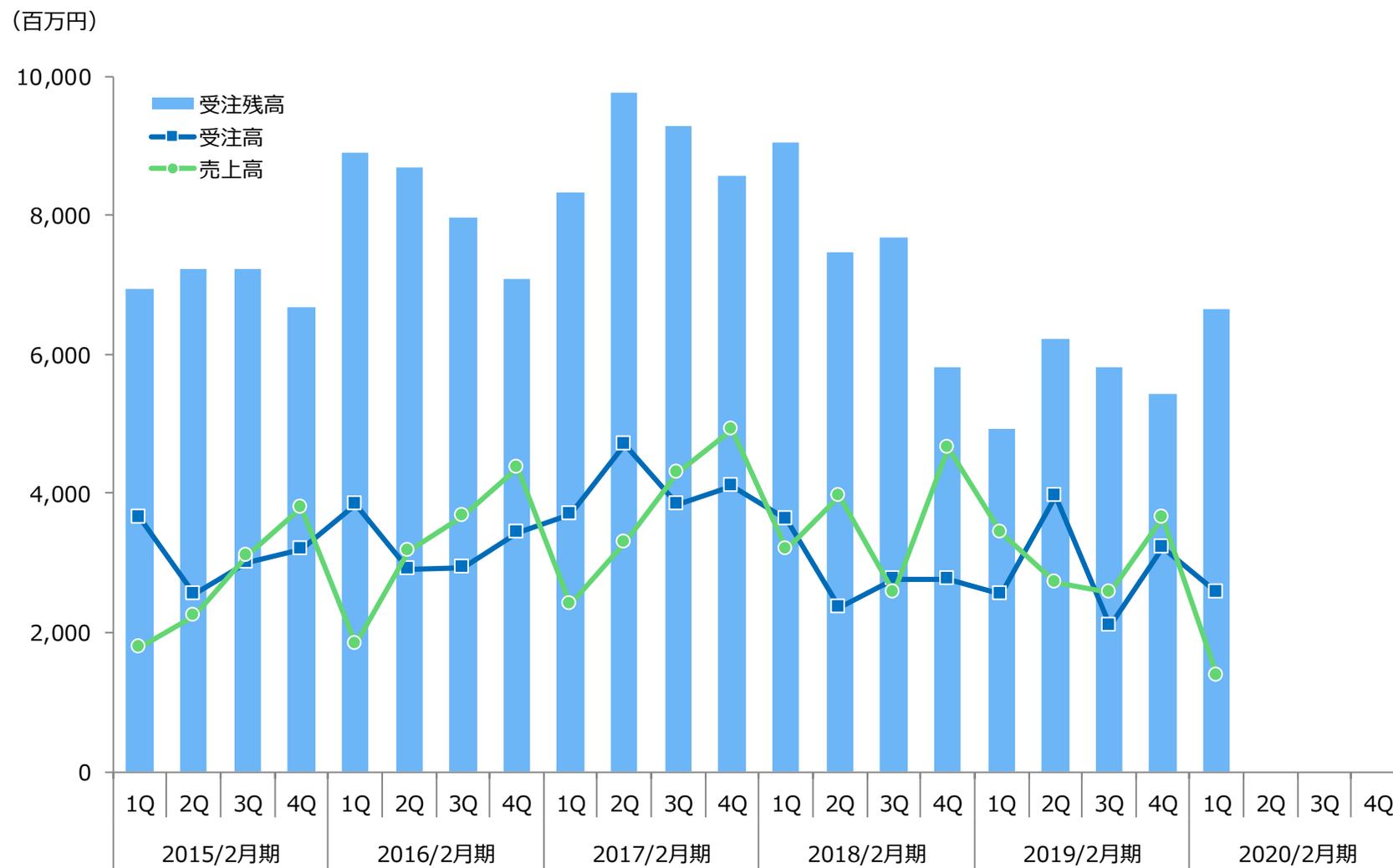
# 機械部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

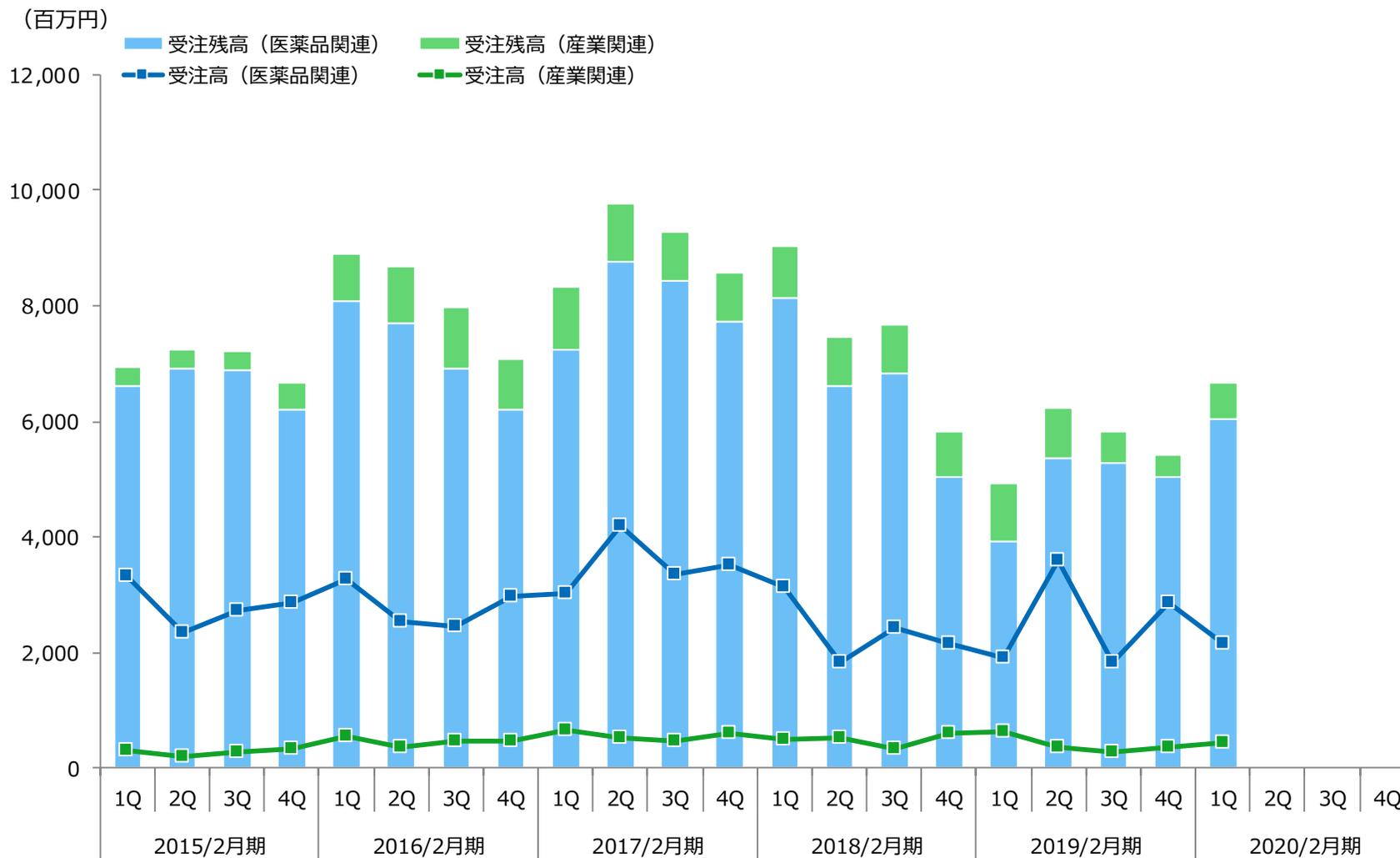
【営業利益率】



# 機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



# 機械部門：四半期推移（分野別受注高・受注残高）



## 化成品部門：概況

- 売上高
  - 医薬品添加剤 : GEメーカー中心に増収・増益
  - 食品品質保持剤 : 計画通りに増収基調
  - 輸出 : インド向け在庫調整で減速
- セグメント利益 : セールスマックス改善で前年水準であるが  
共通経費の負担増に伴い減少

(単位：百万円)

	2019/2月期	2020/2月期	前年同期比増減		2020/2月期
	第1四半期 実績	第1四半期 実績	金額	%	予想 (19/4/9付)
<b>売上高</b>	<b>1,416</b>	<b>1,491</b>	<b>+75</b>	<b>+5.3</b>	<b>6,500</b>
医薬品添加剤	744	764	+20	+2.7	—
食品品質保持剤	555	538	△16	△3.0	—
新規食品	116	188	+71	+61.5	—
(輸出売上高) ※1	123	38	△85	△68.9	—
<b>営業利益</b>	<b>259</b>	<b>187</b>	<b>△72</b>	<b>△27.8</b>	<b>—</b>

※1 主な輸出先：インド・韓国・台湾

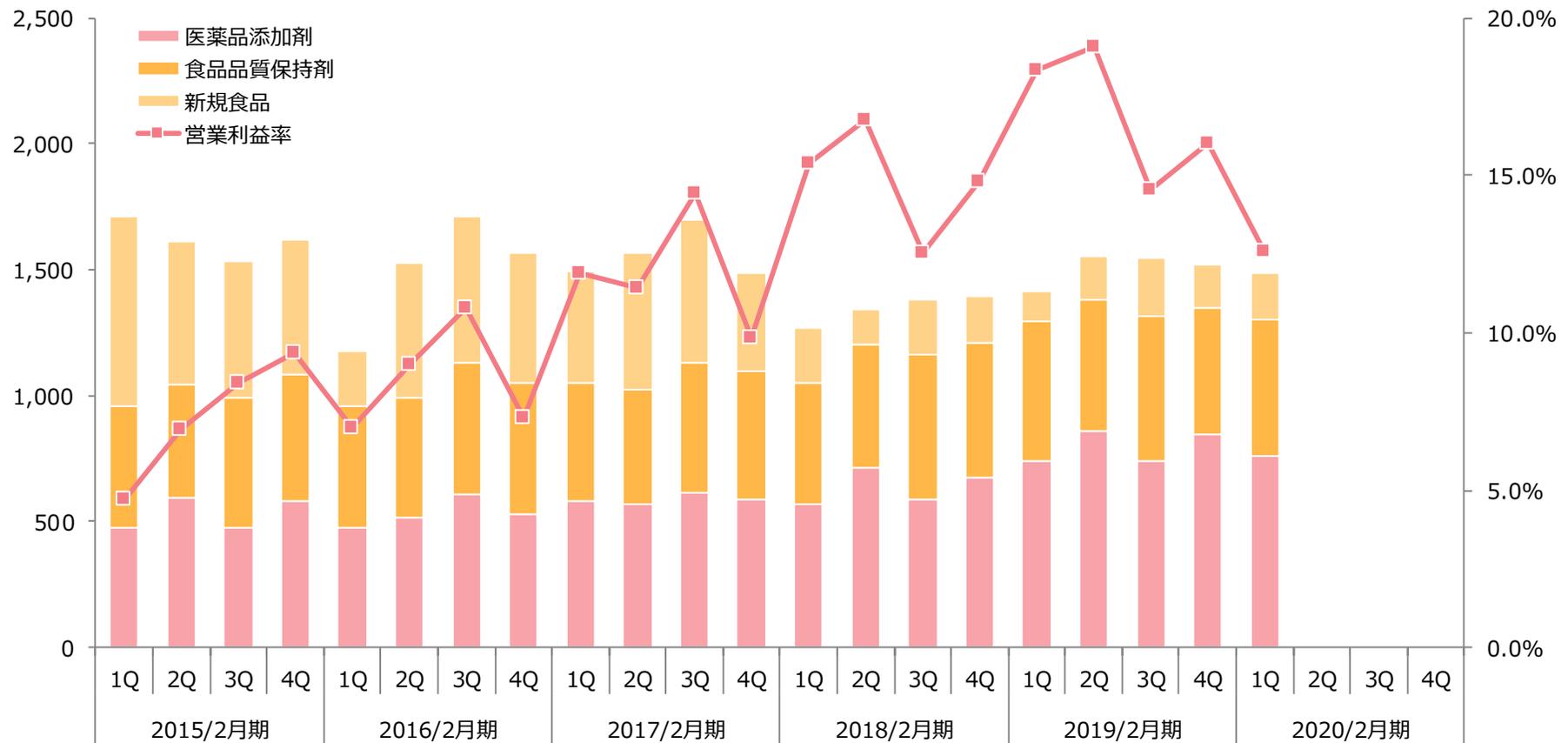
# 化成品部門：四半期推移（分野別）

- 医薬品添加剤はG Eメーカーを中心に高収益製品で増収
- 医薬品添加剤は海外向けも拡販

【売上高】

【営業利益率】

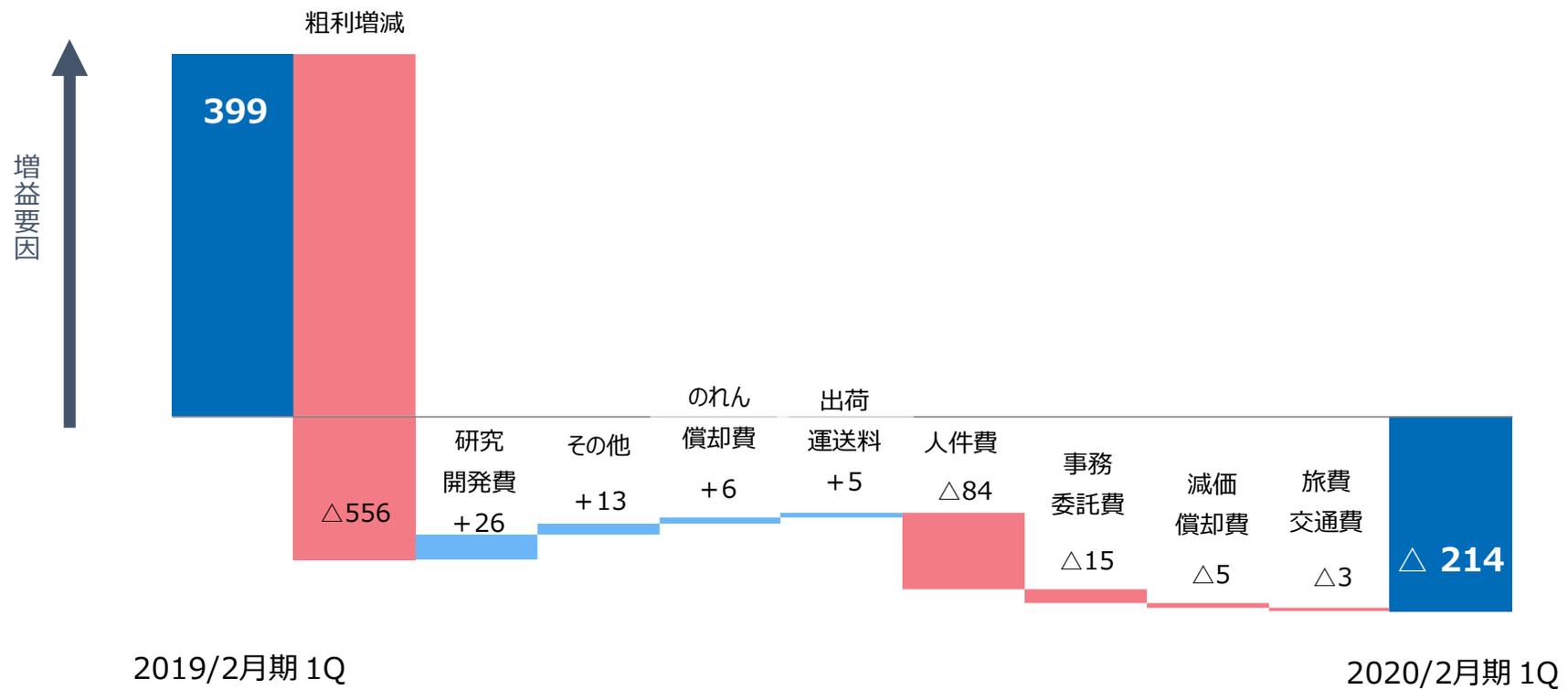
(百万円)



# 連結営業利益増減分析

- トップラインの減少をコスト削減では補えず減益
- 機械・化成品が逆転

(単位：百万円)



2020年2月期  
重点方針の概要と進捗



## 2020年2月期の重点方針

---

- 機械セグメント

- 新製品（錠剤印刷機）の拡販再開
- FREUND-VECTOR社の収益向上
- 非医薬分野（栄養補助食品など潜在市場）の深耕
- メンテナンスサービスの強化
- 電池向け生産機、リピートオーダーの獲得→マクロ影響を受けており苦戦

- 化成品セグメント

- 海外向け添加剤の拡販
- 海外向け錠剤印刷用インクの開発
- C D O（製剤開発受託）事業の準備
- 品質保持剤の生産体制の効率化

## 機械部門：進捗状況

- 新製品の連続生産システムの受注活動が活発
- ブラジルは堅調、中国は大型案件受注
- 電池向け生産機は減速

### 医薬品関連

新製品（錠剤印刷機）の拡販 △

FREUND-VECTOR社の収益向上 △

メンテナンスサービスの強化 △

### 産業関連

非医薬品分野（栄養補助食品など）の深耕 △

電池向け生産機、リピートオーダーの獲得 △

西宮テストセンター（LiB関連向け）開設 △

## 化成品部門：進捗状況

- 医薬品添加剤の操業度は高水準で推移
- 品質保持剤は浜松事業所の新混合設備が稼働開始

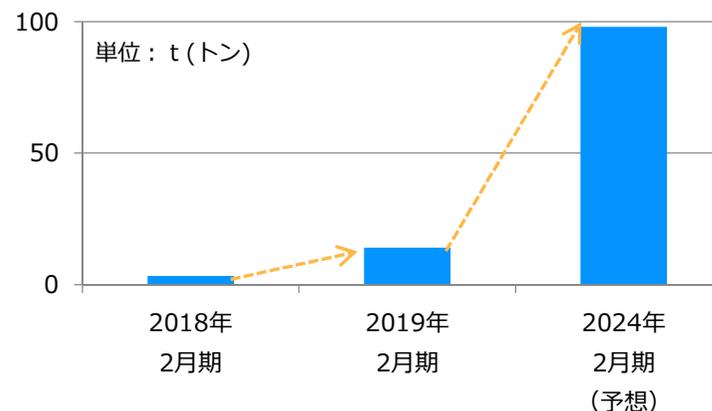
医薬品添加剤		品質保持剤	
海外向け添加剤の拡販	○	海外向け保持剤の拡販	△
CDO（添加剤開発受託）事業の準備	△	菓子業界以外の食品市場開拓	△
海外向け錠剤印刷用インクの開発	△	水分活性測定器の海外仕様検討	△
生産能力の増強	○	浜松事業所内の増産体制構築	○
生産設備の効率化	△	品質管理システムの導入	△

## トピックス①：オープンイノベーション

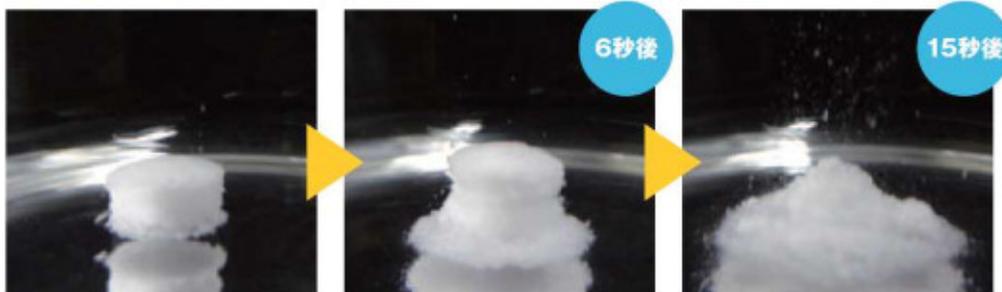
# 本格的なオープンイノベーションを通じ、 直打用医薬品賦形剤「SmartEx®」の事業化を推進しています。

「信越化学工業の持つ機能性素材とフロイント産業の造粒技術を組み合わせることができれば、画期的な賦形剤ができそう」。ある学会のシンポジウムでの両社の技術者同士の立ち話がきっかけとなり、口腔内崩壊錠（OD錠）向け直打用賦形剤「SmartEx®」の共同開発が始まりました。このプロジェクトは、当社が製造を、信越化学工業（株）が販売を担う、新たな協業モデルとなりました。

### SmartEx® 販売量推移



### SmartEx®を使った薬剤の崩壊の様子



### SmartEx®の特徴

高成形性	成形性の低い薬剤にも適応可能
優れた崩壊性	口腔内少量の水で崩壊時間10数秒
優れた口腔内服用性	滑らかな食感
高流動性	高速打錠時でもバラツキの少ない錠剤
優れた安定性	硬度低下、崩壊遅延なく自動分包機対応可能

---

**〈お問い合わせ先〉**  
フロイント産業株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6890-0767  
FAX:03-6890-0870  
**E-Mail : ir@freund.co.jp**

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。

memo



A series of ten thin, light blue horizontal lines spaced evenly down the page, serving as a template for writing a memo.